

様式第4のハ (第4条、第5条関係)

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

① 事業の概要		油槽所			
貯蔵する危険物の概要 ②		引火点	40 °C	貯蔵温度	常温 ☺
基礎、据付方法の概要 ③		2.0m PC杭6本打設し、その上に1.5mの鉄筋コンクリート造の基礎を設ける。タンク下部は、アスファルトモルタルを敷設する。			
タンクの構造、設備	形 ④ 状	縦置円筒型		常 圧 ⑤ 加 圧 (kPa)	
	寸 ⑥ 法	内径 5,000 mm 高さ 4,500 mm		容 量 ⑦ 80 KL	
	⑧ 材質、板厚	底板 9.0 mm 側板 6.0 mm 屋根板 4.5 mm アニュラ板 9.0 mm 全て SS400			
	通 ⑨ 気 管	種 別	数	内径又は作動圧	
		無弁通気管	1	100 mm kPa	
	⑩ 安全装置	種 別	数	作 動 圧	
		なし		kPa	
⑪ 液量表示装置	フロート式	⑫ 引火防止装置	有 ・ 無		
⑬ 不活性気体の封入設備	なし	⑭ ンク保温材の概要	なし		
⑮ 注入口の位置	防油堤の南側	⑯ 注入口付近の接地電極	有 ・ 無		
⑰ 防油堤	構 造		容 量	排 水 設 備	
	鉄筋コンクリート造 (高さ 1,000 mm 厚さ 150 mm)		100KL	防油堤内に集水枥を設け防油堤外に弁を設ける	
⑱ ポンプ設備の概要		ギヤーポンプ (0.5MPa、モーター2.2kW) 2基 (耐圧防爆構造)			
⑲ 避雷設備		JIS-A4201 : 2003 による保護角法 (突針1本)			
⑳ 配管		STPG 黒 (JIS-G3454) 錆止め塗装			
㉑ 消火設備		第3種消火設備 (泡消火設備) 移動	㉒ タンクの加熱設備	なし	
㉓ 工事請負者住所氏名		〇〇市〇〇町〇 - 〇 〇〇設備㈱ 〇〇〇〇 電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※記入方法

ア 各欄の該当しない部分は、「／」又は「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にしてください。

イ 製造所又は一般取扱所の20号タンクの場合は、②から⑰までについて上記に従って記入し、そのほかの欄は斜線を記入してください。

①事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容を記入してください。

(例) 「油槽所」

「化学薬品製造業」

「石油精製業」

②貯蔵する危険物の概要は、タンクに貯蔵する危険物の引火点及び貯蔵される危険物の最高温度を記入してください。

なお、常温で貯蔵する場合は、常温と記入してください。

③基礎、据付方法の概要は、タンクを設置する位置の基礎施工方法及びタンク据付方法を記入してください。

(例) 「20mPC杭6本を打設し、その上部に1.5mの鉄筋コンクリート造の基礎を設ける。

タンクは、底板の縁をボルトにより基礎と固定させる。」

④形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入してください。

⑤常圧・加圧は、タンクの貯蔵方法を○で囲み、加圧の場合は圧力を記入してください。

なお、常圧とは、正圧又は負圧で5キロパスカルを超えないものをいいます。

⑥寸法は、次の項目を記入してください。

ア 縦置円筒型は、内径及び側面板の底部からトップアングルまでの高さ

イ 横置円筒型は、内径、胴長、鏡出及び全長

ウ 角型は、縦、横、高さ

エ 円型は、長さ、幅、高さ、最大幅等特徴的な部分の長さ

⑦容量は、危政令第5条第2項に規定するタンクの容量を記入してください。

なお、製造所又は一般取扱所に設ける20号タンクで、危政令第5条第3項に規定する一定量を超えることがないタンクは、一定量を記入してください。

⑧材質、板厚は、タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入してください。

なお、材質は、JIS記号を記入することもできます。

⑨通気管は、タンクに設置される通気管の種別、設置数、内径を記入してください。

なお、大気弁付通気管の場合は、作動圧についても記入してください。

⑩安全装置は、タンクが圧力タンクの場合に安全装置の種別、設置数、作動圧を記入してください。

⑪液量表示装置は、タンクに設置された液面計の型式等を記入してください。

⑫引火防止装置は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入してください。

⑬不活性ガスの封入設備は、タンクに不活性ガスを封入する設備が設けられる場合にその概要を記入してください。

(例) 「専用配管を接合し、タンク内圧が〇〇Pa以下となれば窒素ガスの封入を行う。」

⑭タンク保温材は、タンクの外面に保温材がある場合に、保温材の種類及び施工方法を記入してください。

(例) 「ウレタンフォーム吹き付け」

⑮注入口の位置は、タンクに移動タンク貯蔵所等から受け入れる口がある場合に該当する注入口の設置場所及び防油堤の内側か外側かを記入してください。

なお、製造所から配管により受け入れる場合等は、「なし」又はその旨記入してください。

(例) 「防油堤内南西側」

「○○棟（製造所）から配管で注入」

⑩注入口付近の設置電極は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入してください。

⑪防油堤は、構造、容量及び排水設備を記入してください。

なお、排水設備は、防油堤に集水ますを設け防油堤外の排水弁を設ける等概要を記入してください。

⑫ポンプ設備は、タンクに受け払いを行っているポンプの種類、最大吐出圧力、原動機の種類等及び設置数並びに防爆構造の種別又は記号を記入してください。

⑬避雷設備は、J I S A 4 2 0 1 で示される保護手法（回転球体法、保護角法、メッシュ法）及び受雷部（突針、水平導体、架空地線、避雷導体）を記入してください。

なお、他の建築物等に設置されている避雷設備の保護範囲内であるため、製造所等に避雷設備を設置しない場合は、括弧書で他の建築物等の名称及び避雷設備の概要を記入してください。

⑭配管は、製造所等で使用する配管すべてについて材質、外面保護等を記入することとし、J I S 記号を記入することもできます。

⑮消火設備は、製造所等に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入してください。

(例) 「第4種消火設備（大型○○消火器20kg）1個、第5種消火設備（○○消火器10型）5個」

⑯タンクの加熱設備は、設置された加熱設備の概要、加熱媒体、温度等がわかるよう記入してください。

(例) 「ボイラーによる蒸気を配管により、20号タンクのジャケットに接続し、70度に加熱する。」

⑰工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び代表者名又は担当者名）及び連絡先の電話番号を記入してください。